

～現地研修～

3. 各箇所の詳細点検

【擁壁工】

様式-3 箇所別記録表(擁壁)

															検査数字					管理機関名																															
																				管理機関コード																															
施設管理番号			点検対象項目			擁壁			路線名			距離標(自)			0 0 0 0			(至)			0 0 0 0			0 0			上下線の別		他		延長		0.000 m																		
事業区分		一般		道路種別				現道・旧道路区分		現道		所在地				都		町		位置目印		なし		北緯		0 度 0 分 0.0 秒		東経		0 度 0 分 0.0 秒		測地系		世界測地系																	
事前通行規制区間指定			無			規制基準等			連続雨量			0 mm			時間雨量			0 mm			交通量			平日			0 台/12h			休日			0 台/12h			DID区間		非該当		バス路線		非該当		迂回路		無		緊急輸送道路区分		指定無	

スケッチ・現況写真(既設対策工、位置目印との位置関係が分かるもの)

参照

位置図(縮尺1/25,000)

参照

特記事項															被災履歴					無 () (H8年度以降)				
点検実施		H		年		月		日		天候:		(晴)		重複点検対象項目					対応施設管理番号:					
調査方法		地表踏査												無										
所見														H8年度点検結果					評点 (点) 総合評価: /対応: ()					
(評価理由)														H18年度点検結果					評点 (点) 総合評価: 評価					
														予想災害規模					現象1: 規模1:					
																			現象2: 規模2:					
																			現象3: 規模3:					
														想定対策工					工種1: その他1:					
																			工種2: その他2:					
																			工種3: その他3:					

様式-13 安定度調査表(擁壁)

シート複製 シート削除 すべてクリア

[擁壁周辺条件要因](A)							
項目	要因	評点区分	配点	評点			
地形	地すべり	地すべり地形ではない	0	(30)			
		地すべり地形だが適切な対策を講じている	5				
		地すべり地形だが対策がない、あるいは不明	30				
軟弱地盤	軟弱な地盤ではない	軟弱な地盤ではない	0	(20)			
		軟弱な地盤だが適切な対策を講じている	5				
		軟弱な地盤だが対策がない、あるいは不明	20				
		基礎地盤	基礎底面		良好な地盤に着床している	0	(10)
					擁壁前面の基礎地盤の平場が狭い	5	
崖錐地帯にある	10						
支持力	平板載荷試験により支持力を確認している	良好な地盤が30°以上傾斜している	10	(5)			
		N値から支持力を推定している	2				
		支持力の確認を行っていない	5				
水	地下水	付近に湧水は認められない	0	(10)			
		付近に湧水がある	10				
		基礎地盤の地下水が底面付近にある	10				
	排水施設	周辺に有効な排水施設があり、雨水等が流入しない	周辺に有効な排水施設があり、雨水等が流入しない	0	(25)		
			周辺に排水施設が機能を発揮していない	20			
排水施設が設置されておらず、雨水が自然流入する	25						
立地	洗掘	前面に河川がない	0	(20)			
		洗掘防止工が無いが、基礎は常時水位より高い	5				
		擁壁前面に有効な洗掘防止工が講じられている	5				
		洗掘防止工がない	10				
		擁壁前面の洗掘防止工の効果がない	20				
合計 但し50点を上限とする			(A)	0点			

[履歴](C)					
項目	要因	評点区分	配点	評点	
壁体の変状	変状なし	変状なし	0	(50)	
		変状有	2年以上変状が進行していないことを確認		10
			対策工実施後変状の進行なし(2年未満)		10
			未対策だが変状の進行なし(2年未満)		20
			変状の停止が確認されず(含む、資料無し)		50
合計 但し50点を上限とする			(C)	0点	

(D) = (A) + (B) + (C)

擁壁周辺条件要因 (A) による評点	0点
擁壁本体要因 (B) による評点	0点
履歴からの評点 (C)	0点
合計評点 (D)	0点

[擁壁本体要因](B)				
項目	要因	評点区分	配点	評点
擁壁形式	石積混合擁壁	安定した地山や切土のり面保護として用いている	5	(20)
		良好な裏込めが施されている	5	
		上記以外	10	
		空積	20	
	無筋等	点検要領参照	5	0
片持梁式	点検要領参照	0		
合計 但し20点を上限とする			(B)	0点

[総合評価]	
対応	判定
対策が必要と判断される。	<input type="radio"/>
防災カルテを作成し対応する。	<input type="radio"/>
特に新たな対応を必要としない。	<input type="radio"/>

注) ()は各項目の満点を示す。
該当する場合は配点欄に○印をつけると共に点数を記入する。
不明な場合は中間的な値を採用をする。

様式-16 被災履歴記録表

管理機関名

管理機関コード

シート複製

シート削除

施設管理番号		被災種別		発生位置	距離標(自)	0	0	0	0	(至)	0	0	0	0	0	0	0	上下線の別	他	
H8年度防災点検箇所	非該当				北緯	0	度	0	分	0.0	秒	東経	0	度	0	分	0.0	秒	測地系	世界測地系

平面図(被災・対策)

参照

断面図(被災・対策)

参照

スケッチ・現況写真(被災・対策)

参照

特記事項

発生年月日	H	年	月	日
規模	幅、長さ、深さ(m)	0.0 m、	0.0 m、	0.0 m
	コメント:			
誘因	降雨:連続	0.0 mm	最大	0.0 mm/hr
	地震:震度	0.0	加速度	0.0 gal
被害	人身:死者	0 人、負傷者	0 人、	物損:
	被害額:	0 百万円		
通行止実績	全面	0 時間、片側	0 時間、	路肩規則
	なし			
対策工	施工年度:			概算工費:
			0 百万円	

現状記録写真

管 理 機 関 名

管 理 機 関 コ ー ド

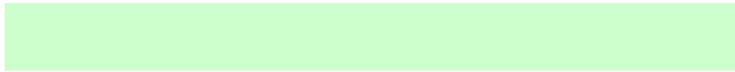
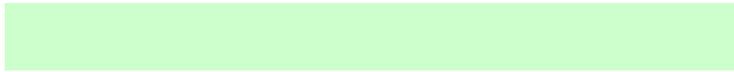
シート複製

シート削除

施設管理番号		点検対象項目	擁壁	路線名		距離標(自)	0	0	0	0	(至)	0	0	0	0	0	0	0	上下線の別	他	延長	0.0 m							
事業区分	一般	道路種別		現道・旧道路区分	現道	所在地					町	位置目印	なし	北緯	0	度	0	分	0.0	秒	東経	0	度	0	分	0.0	秒	測地系	世界測地系

参照

参照



参照

参照

